

事務事業評価シート

平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		41100	海上公民館管理費	予算科目	会計	款	項	目	担当班	社会教育施設班
施策体系	基本施策	12	生涯学習の充実	根拠法令	社会教育法、旭市公民館の設置及び管理に関する条例、規則	10	4	7	事業種別	☒ 主な事業
	施策の展開	24	生涯学習関連施設の充実	戦略事業	125 各施設の整備充実					☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開			戦略事業						☐ 新市建設計画
										☐ 定住自立圏構想
										☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 56 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		【維持管理業務】市民一人ひとりが、自ら学び自ら行動し、より良い生活や自己向上を高めるために、様々な学習機会を提供する場として、快適かつ安全で利用しやすい施設となるよう、公民館施設の維持管理及び改修を行い整備する事業。①乳幼児、高齢者、身障者が利用しやすい施設。②建築基準法、消防法等の法令に適合した安全な施設。③コスト削減、エコエネルギーに対応した施設。④情報の収集力の高いITに対応した施設を目指す。 【貸館業務】一般団体、サークル活動等の（ホール、研修室4、和室3、多目的ルーム、陶芸室、ラポート24）貸館業務（開館時間 9時～22時 休館日 月・祝日・年末年始休館）。【図書貸出業務】図書の貸出、図書室の管理。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
社会教育法21条で「公民館は市町村が設置する」と規定。		改修整備費用は多額となることが予想される。そのため費用の確保は困難であり、補助事業などの活用や低予算での整備が課題。	・利用者アンケートでは「ほぼ満足している」方が多い。 ・利用者アンケートでは「地元の公共施設として無くてはならない身近な施設として不可欠である」との意見が他地域に比べて多い。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (30年度の決算)			単位:千円	単位 (決算) (決算) (決算) (決算) (予算)					
1.賃金	2,994	臨時職員賃金	千円	2,652	2,742	2,984	2,994	3,284	
2.需用費	12,161	消耗品、光熱水費、修繕料	千円	5,330	7,294	7,101	12,161	4,540	
3.役務費	311	通信運搬費、手数料、保険料	千円	350	311	347	311	365	
4.委託料	5,265	清掃、受付業務、樹木剪定、耐震調査、他	千円	5,870	7,268	6,296	5,265	5,490	
5.その他	673	工事請負費、備品購入費、共済費、使用料賃借料、公課費	千円	2,000	11,778	20,436	673	813	
② 特定財源の内訳 (30年度の決算)			単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金	0		千円	16,202	29,393	37,164	21,404	14,492	
2.都道府県支出金	0		千円						
3.地方債	0	社会教育施設改修事業債	千円		9,900	14,700			
4.その他	1,534	公民館使用料、繰越明許繰越金	千円	1,869	1,789	6,344	1,534	1,776	
			千円	14,333	17,704	16,120	19,870	12,716	

前年度増減理由	・エアコン故障のため修繕費増 ・特定天井改修工事完了のため工事請負費減
---------	--

従事職員数	常時	5人	最大	5人	×	365日	=	延べ	1,825人
-------	----	----	----	----	---	------	---	----	--------

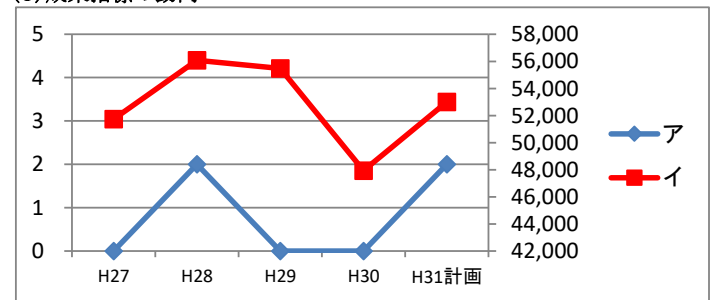
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	30年度実績 (30年度に行った主な活動)		ア 修繕回数	回	12	10	15	11	3
目的	・施設の維持・管理 ・貸館業務、図書の貸出し		イ 貸館予約受付・申請数	件	483	494	466	356	500
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	対象・意図		ア 維持管理に関する苦情件数	件	0	2	0	0	2
	対象・意図		イ 貸館延べ利用者数	人	51,740	56,079	55,468	47,939	53,000
	対象・意図								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
大きい		①	
普通		②	
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	(12)

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値減＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較	26年度 27年度 28年度 29年度 30年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ		数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	成果動向	27年度 28年度 29年度 30年度 31計画
	文化団体・サークル利用人数の減				ア	0 2 Δ2 0 2
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容	今後 の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し	
令和元年度			東側外部扉修繕工事・陶芸室裏塙修繕工事・リバーブロッサラー設置工事	令和元年度中	☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()	Δ2,416 4,339 Δ611 Δ7,529 5,061